# 令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 \_ 施設名 (所管課)

富山県立イタイイタイ病資料館

2 施設所在地

富山市友杉151番地

3 施設設置年度

平成24 年度

4 設置目的

イタイイタイ病が二度と繰り返されることがないよう、貴重な資料や教訓を後世に継承するとともに、困難を克服した先人の英知を未来につなぎ、もって環境 及び健康を大切にする県づくりに資することを目的とする。

5 施設概要

鉄筋コンクリート 2階建て

延床面積 1,209,93㎡ (1階部分683,1㎡、2階部分526,76㎡) ※富山県国際健康プラザに隣接して設置

6 指定管理者

公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間

3 年

令和4年4月1日

令和7年3月31日

- 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況
  - (1)利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
28, 252	26, 103	11, 702	12, 311	13, 976

# (2)利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
3	7	12	15	7

#### 【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
_		_		_

#### 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・入館者数は、令和3年度比113.5%の13,976人であった。
- ・個人、団体別では、個人利用者は令和3年度比99.4%の7,921人、団体数は令和3年度 比143.4%の175団体であり、団体の内訳は学校関係が28校増の125校、その他の一般団 体が25団体増の50団体であった。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・平成24年度から小学校、中学校、高校等からの来館者を借上バスにより無料送迎を実施

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・平成24年度から資料館の見学と国際健康プラザの利用をセットにしたコースを提供
- ・平成24年度から各市町村に出向き、資料館の展示内容に係るパネルの展示、各種関係資料の配付及びアンケート等を行うサテライト事業を実施

#### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

<u> ① / ~ / ・ 下帰</u>	木
実施方法	・年に4回(4月、8月、11月、2月)、各々1週間の期間を設
	<mark>定                                    </mark>
回答者数	477名
結果	年代別の回答割合は、小中学が21.8%、高校生以上が78.2%、高
	校生以上では40歳代が最も多く24.9%、続いて50歳代が17.3%、
	30歳代が11.5%であった。
結果を踏まえた	・より多くの人に来館してもらえるよう、ホームページやメール
改善事項	マガジンを活用した啓発を行う。また、国際健康プラザ利用者に
	対しても機会をとらえて積極的に案内を行う。

# ②その他利用者の声を反映させる取組み

・受付担当者が見学者に積極的に声かけをして、利用者の声を直接把握するよう に努めており、展示解説ボランティアも利用者に積極的に声かけを行い、利用者 からの声を集めている。

### ③主な苦情と対応

特になし

# (5)個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

#### (6)関係団体との連携

- ・市町村や各種団体へパンフレットを配布。
- ・富山県広域消防防災センターと連携を行い、バスを用いて利用する団体の利用促進を 図っている。

- (7) 施設・設備の維持管理
  - ・適切に管理されている。
- (8) 危機管理・安全管理などの取組み
  - ・国際健康プラザと連携した防火訓練及びAED講習を実施した。
- 10 所管課の管理運営確認状況
  - ①定期報告の受理
  - ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
  - ③個人情報に関するトラブルの有無
  - ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	_
無	_

【トラブルの具体的内容と対応】

・なし

- 11 今後の課題等(収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)
  - 経費削減を念頭に業務内容を再点検する。
  - ・令和5年3月13日から新型コロナウイルス感染症の防止対策については個人の主体的な選択を尊重し、施設側としてはマスクの着用について依頼することはせず、学校等の団体の場合は団体主催者側の判断とし、それ以外の必要な対策については今後も引き続き行っていく。
  - ・来館者アンケート等を用いて、来館者の意向を反映させながら各種の企画や管理を工夫し、サービスの向上と来館者の増加を図る必要がある。
  - ・今後とも、小学校等だけでなく、より幅広い層の来館を促すPRが必要である。